

HF レーダーによる津波監視技術適用性検証のための海流観測の開始について

2015年2月18日

当社は、HF※帯電波を用いたレーダー（以下、「HFレーダー」という。）について、2014年11月17日に総務省東海総合通信局から予備免許を受領し、試験調整運転をおこなってきました。本日、本HFレーダーに関する無線局免許を受領し、発電所前面海域における海表面の流速観測を開始しましたので、お知らせします。

津波を早期に精度よく検知する津波監視技術の研究の一環として、レーダーによる発電所前面海域における海表面の流速観測開始に向けて取り組んでおり、浜岡5号機原子炉建屋屋上に設置したHFレーダーの予備免許を2014年11月17日に総務省東海総合通信局から受領し、試験調整運転をおこなってきました。（試験調整運転の開始については、[2014年11月17日](#) お知らせ済み）

これまで実施してきた試験調整運転において、本レーダーに関する無線設備が予備免許の内容に適合していることを確認したことから、本日、総務省東海総合通信局による電波法に基づく検査を受けました。また、同日、この検査に合格し、無線局免許を受領しました。

今後、本レーダーを用いた流速観測により、津波襲来に伴う沖合の流速変化を検知することが可能であるかの技術検証を進め、実用化に向けて取り組んでまいります。

当社は、引き続き、津波監視に関する研究を進め、発電所における初動体制や復旧体制の構築などに役立てていきます。

※ HFとは、high frequencyの略で、周波数が3MHz～30MHzの電波のことです。

以上